

地震ハザードマップ

出典：地震被害想定（平成19年3月 大阪府）
南海トラフ巨大地震（平成25年8月 大阪府南海トラフ巨大地震被害対策等検討部会）

このマップは、岸和田市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを示したものです。市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震は、①上町断層帯地震、②中央構造線断層帯地震、③南海トラフ巨大地震の3つです。皆さんのお住まいの地域でどのくらいの揺れが予想されるのかを確認し、地域の地震対策に役立てて下さい。

想定される震度

地震の種類

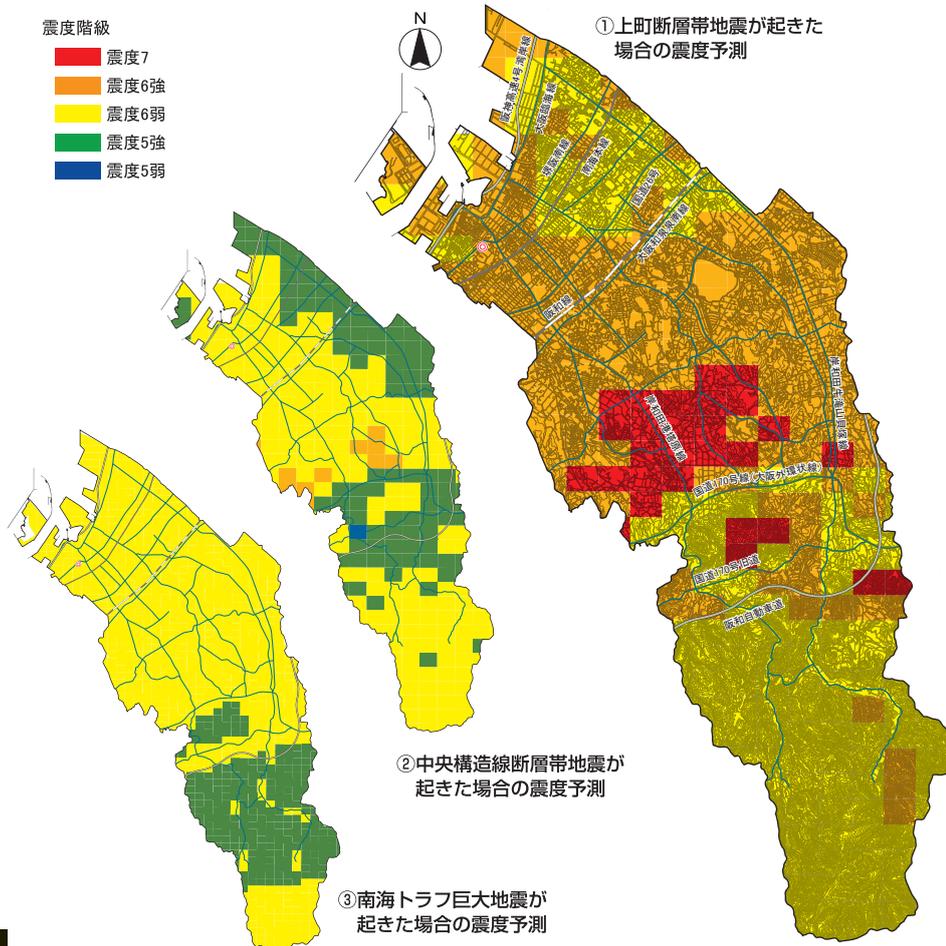
内陸型地震（直下型地震）

- どこで起きる？ → 活断層で起きる地震
- 例えばどの地震？ → 阪神・淡路大震災
- 特徴は？ → 被害範囲が比較的狭い
 - ・ガタガタと短時間強く揺れる
 - ・日本のどこでも起こりうる

海溝型地震

- どこで起きる？ → プレートの境界で起きる地震
- 例えばどの地震？ → 東日本大震災、南海トラフ地震
- 特徴は？ → 被害範囲が広い
 - ・ゆっくり大きく長時間揺れる
 - ・津波が発生することもある

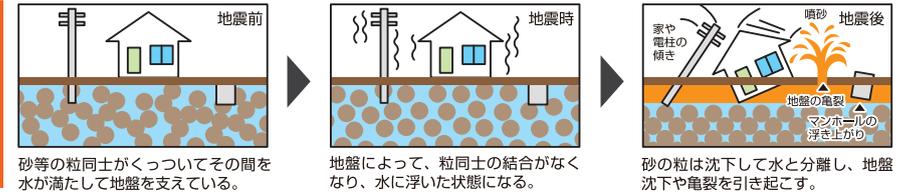
- 震度階級
- 震度7
 - 震度6強
 - 震度6弱
 - 震度5強
 - 震度5弱



このマップで示す震度・液状化危険度は、仮定した震源や地震規模に基づくものであるため、地震発生の仕方によって、予測より強くなったり弱くなったりすることがあります。3つのうち、岸和田市で最も大きい震度が想定されるのは①上町断層帯地震であり、市全域で震度6弱以上、最も大きい地域では震度7が想定されます。

想定される液状化危険度

液状化の仕組み



- 液状化危険度 (PL値)
- 25～
 - 20～25 } 大
 - 15～20
 - 10～15 } 中
 - 5～10
 - 0～5 } 小

